

国会議員主催

プロサバンナ事業に関する勉強会

事業主 JICA を招いた「公開勉強会」

**国会議員と NGO が
日本の海外援助・
プロサバンナ事業の問題を
とことん追及！**

一般市民・メディア
参加者募集!!

2019年 **12月23日（月）** 14時～17時

【主催議員】：石橋通宏議員、井上哲士議員、川田龍平議員、篠原孝議員、徳永エリ議員、田村貴昭議員、西村智奈美議員、福島みずほ議員（五十音順。その他議員、調整中）

2009年、日本政府とJICA（国際協力機構）は、ブラジルと共に、アフリカのモザンビークで大型農業開発事業「プロサバンナ」を進める三角協力事業に合意しました。「プロサバンナ」は、2011年に始動しましたが、2012年10月には、モザンビーク最大の小農運動（UNAC）が、世界に反対声明を発信しました。以来、現在まで、数多くの問題が明らかになっています。

2013年以来、衆参両院の国会議員は、税金の適正運用と行政の透明化を実現するため、事業主であるJICAやこれを監督する立場にいる外務省に対し、情報照会、国会質疑、質問主意書の提出等に取り組んでこられました。過去には、議員主催のプロサバンナ勉強会が、JICA/外務省とNGOを招く形で2度行われています。また、多くの国会議員に、NGOが主催する院内集會に協力いただいてきました。

本年9月4日に開催されたNGOの院内集會にも10名の国会議員が「呼びかけ議員」として協力されました。同集會は、アフリカ開発会議（TICAD7）にあわせて来日した事業対象地最大の小農運動（ナンブーラ州農民連合）代表と「プロサバンナにノー！キャンペーン」、外務省・JICAの事業担当者らを招く形で行われ、その様子はテレビや新聞、ネット上で広く報道されました。

しかし、9月20日、JICAは公式サイトで、院内集會に登壇した小農運動代表を名指しで誹謗する広報文を発表しました。これを受けたNGO5団体は、JICAに対し、記述が事実に基づいていないこと、また新たな人権侵害であるとして抗議し、文章の撤回を要求しましたが、現在までこの文は掲載されたままです。

本議員主催勉強会は、以上の事態を憂慮し、また現地行政裁判所でのプロサバンナ違法判決を受けて、議員のイニシアティブで、JICAとNGOを招待する形で開催されます。

事業開始から8年、35億円を超える国費が投入されてきた本事業について、ひとりでも多くの日本の納税者・主権者と共に問題を考えるため、本勉強会はメディア・市民に公開される形で開催されます。

お申込み QR コードはこちら↓

日 時：2019年12月23日（月）14時～17時

場 所：参議院議員会館 101 会議室（東京都千代田区永田町 2-1-1）

アクセス：地下鉄メトロ 永田町（徒歩4分）、国会議事堂前（徒歩7分）

資料代：500円

集合時間：13時30分～13時45分 ※集合時間内に、参議院受付ロビーに集合下さい。ロビーで入館 票を受け取っての入館となります。遅れる場合は以下の申込サイトの備考欄に具体的な到着時間をご記入下さい。

申 込：事前お申込みが必要です。以下申し込みページから氏名・所属・連絡先をご記入ください。

【締め切り：12/21（土）】 <https://ssl.form-mailer.jp/fms/3be9aa84646364>

協 力：日本国際ボランティアセンター（JVC）、モザンビーク開発を考える市民の会、ATTAC Japan 国際ネットワーク委員会、アフリカ日本協議会（AJF）、No! to landgrab, Japan



【問い合わせ】：日本国際ボランティアセンター（JVC）東京事務所
〒110-8605 東京都台東区上野 5-3-4 クリエイティブ One 秋葉原ビル 6F TEL：03-3834-2388（渡辺）